

みんなで区・自治会に入ろう！

日常の「当たり前」は、実は当たり前ではない！？

防犯灯



カーブミラー



防犯灯やカーブミラーの設置要望は区・自治会長からの申請となります。

(個人での要望は
できません。)



防犯灯の球切れやカーブミラーの破損がないかなど、防犯灯およびカーブミラー設置後の維持管理や設置要望は区・自治会で行っています。

環境美化活動



防災訓練



児童・生徒の
見守り活動



防犯パトロール



市民清掃デーなどの環境美化活動や防災訓練、児童・生徒の見守り活動、防犯パトロール、金融機関等での振込詐欺撲滅運動などの安全・安心活動など、「自分たちのまちは自分たちの力で！」をモットーに、区・自治会は日々活動しています。

区・自治会は日常の「当たり前」を支えている重要な存在です！



個人で解決できないことも、区・自治会からの要望・陳情で解決できることは多々あります。
ぜひ、あなたも区・自治会に入りましょう！



※ 区・自治会により活動内容に違いがありますので、詳細は各区・自治会にお尋ねください。

区・自治会ってめんどくさい…
入るメリットあるの？
と思った方！



裏面へ

今こそ「地域力」！

区・自治会はいざという時に真価を発揮します！



風水害時に…

平成 28 年 8 月に関東地方を襲った台風 9 号は、入間市内に大きな被害をもたらしました。藤沢地区では、河川の決壊により下半身まで水に浸かり、自宅から避難できなくなった住民が、自治会役員により救出された事例がありました。また、西武地区では水路の護岸が崩落して避難を余儀なくされた住民に対し、被災当日に貸アパートの幹旋や衣類・食品の提供を行った自治会の事例もありました。

令和元年 10 月の台風 19 号では、市内各避難所に約 1,500 人が避難しました。避難者が予想以上だったため、避難所によっては自治会長をはじめとする自治会役員の的確な指示により、円滑な避難所運営がされたという事例もありました。

いざという時に助け合えるのが区・自治会であり、その時に真価を発揮するのです。



▲ 救助される住民の様子
(平成 28 年 台風 9 号)

いつ来るか分からない災害のために…

大災害を経験した方々が口を揃えて言われるのが、「地域組織（区・自治会）の大切さ（共助）」です。非常時は電話やインターネットが繋がらず、公助（市の支援）が追いつかないことが想定されます。また、自助にも限界があります。そこで避難所運営や情報共有において、共助が真価を発揮します。

経験者曰く、普段訓練している以上のパフォーマンスを非常時に発揮するのは不可能とのこと。情報源が断たれる中、自分一人で正確な情報を得られるでしょうか？いきなり見ず知らずの方と協力して、避難所での生活を送れるでしょうか？その場面に直面した時、市とのパイプ役を担う区・自治会の大切さに気付かされるはずです。

いつ発生するかわからない大災害に備え、区・自治会に加入しませんか。

【お住まいの地域の区・自治会】

区・自治会名 _____

区長・自治会長名 _____

連絡先（☎） _____

ぜひ、区・自治会に
加入しましょう♪



御不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。

【製作】入間市連合区長会 （事務局）入間市役所自治文化課内

☎ 2964-1111（内線 2141・2142） ✉ ir211000@city.iruma.lg.jp